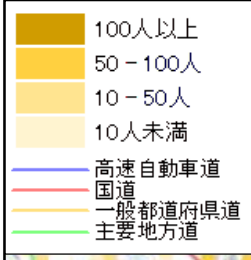


# 会津若松市における地域との連携・協働によるバスづくり 金川町・田園町住民コミュニティバス「さわやか号」の取組

1. 会津若松市の概況・課題
2. 金川町・田園町住民コミュニティバス「さわやか号」の取組
3. 地域との連携・協働によるバスづくりの展開
4. 地域との連携にかかる課題や制度への期待

# 市の概況、公共交通の概況



人口 120,672人  
世帯 49,953世帯  
面積 383 km<sup>2</sup>

H22年度	DID人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	DID面積 (km <sup>2</sup> )	DID集中度※ (%)
会津若松市	5,270.2	16.7	4.4%
富山市	4,018.2	55.6	4.5%
新潟市	5,639.3	103.4	14.2%
仙台市	6,913.6	134.8	17.2%
八戸市	3,423.2	47.0	15.4%
魚津市	3,593.4	4.3	2.1%
米沢市	3,624.9	13.0	2.4%
高山市	4,800.1	8.1	0.4%
いわき市	3,595.0	45.8	3.7%
喜多方市	2,787.8	4.4	0.8%
郡山市	5,105.4	46.9	6.2%
佐野市	4,346.1	10.5	3.0%
小松市	3,913.2	8.7	2.4%
富士宮市	4,310.6	15.8	4.1%
東近江市	5,147.0	6.2	1.6%

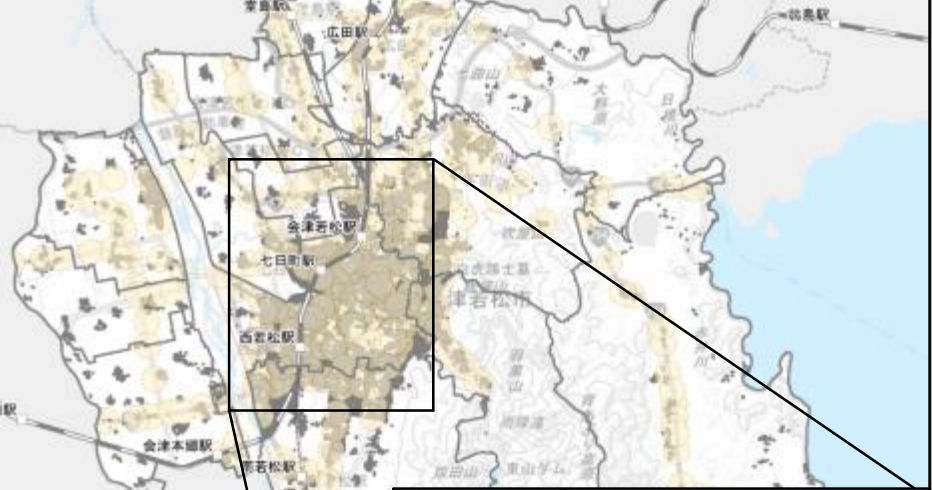
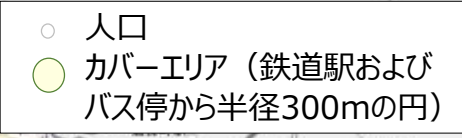
※DID集中度(%) : DID面積/全面積

- ハイカラさん
- あかべ
- ひまわりくん(西まわり)
- ひまわりくん(東まわり)
- 松長団地・西若松駅線
- 中央病院・居合団地線
- 神明・千石線
- 仁愛高校線
- 住吉町線由永井野線
- 年貢町線由永井野線
- 本郷線
- 袴町線由本郷線
- 坂下線
- 堀川・喜多方線
- 熊倉・喜多方線
- 原長・金川線
- 宮の坂線
- 新鶴線
- 金堀線
- 及川線
- ピカリン号
- みなづる号
- エコー号

【鉄道】 J R 磐越西線、  
J R 只見線、会津線  
【バス】 乗合1社(22路線)  
【タクシー】 6社

市関係路線  
バス利用者数  
約200万人

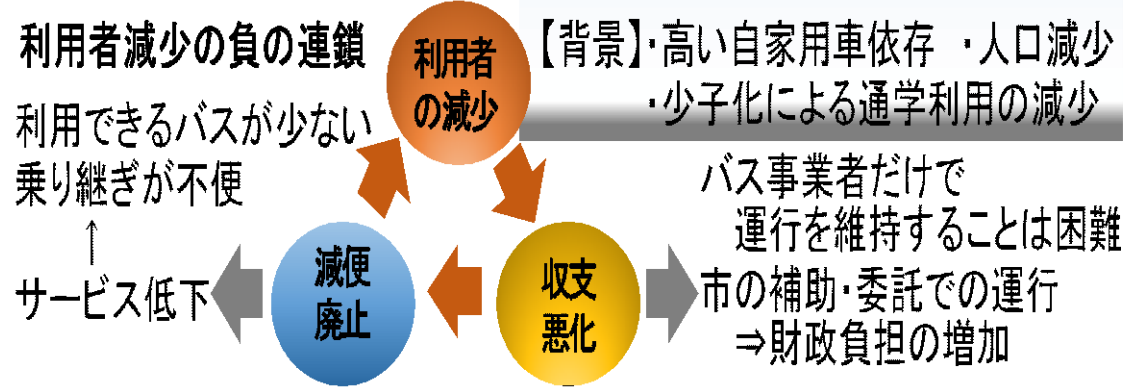
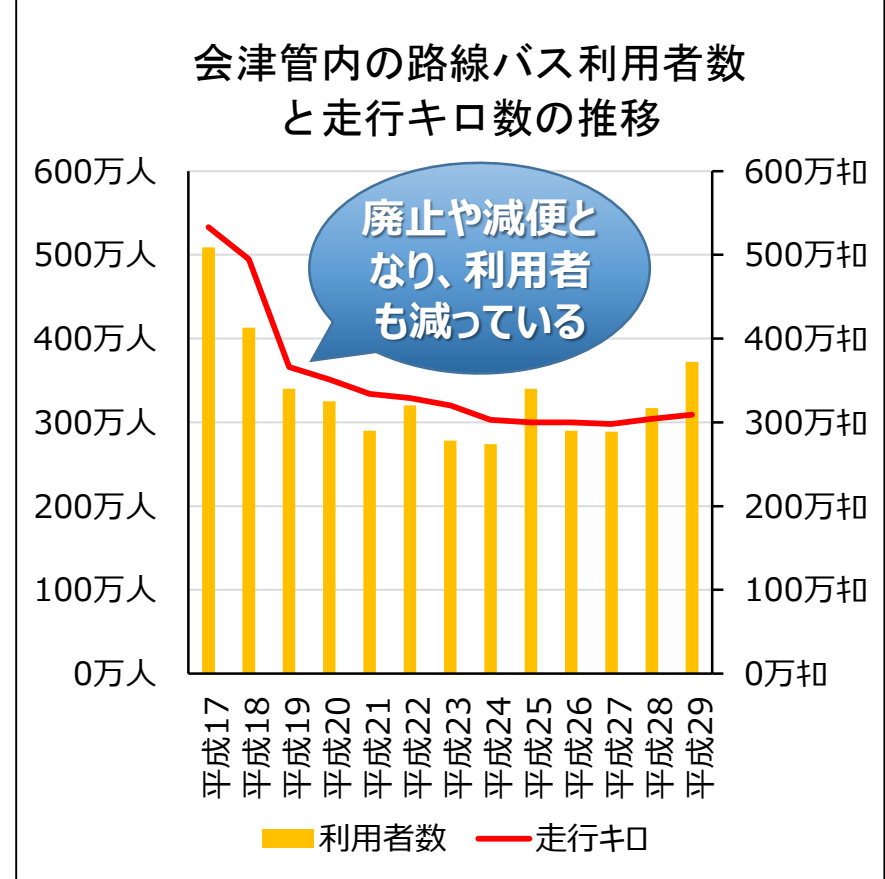
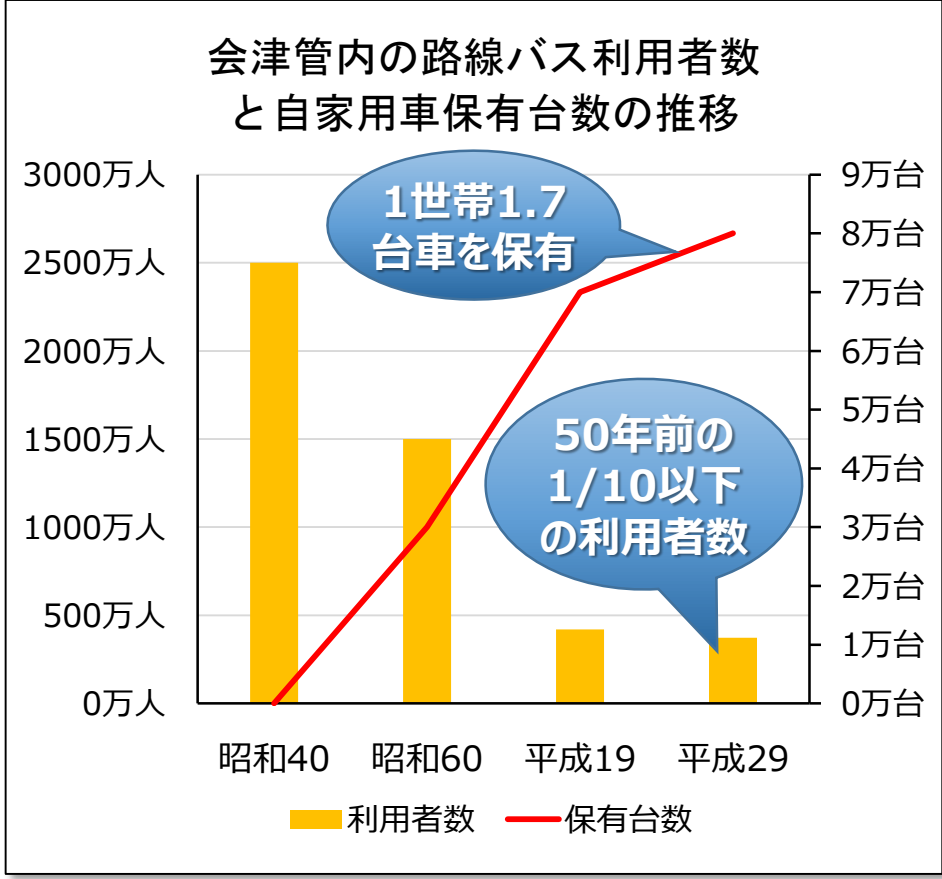
## カバー状況



【カバー人口】  
75%  
約90,000人  
【非カバー人口】  
25%  
約30,000人  
※公共交通空白  
白地域の人口



# 路線バスを取り巻く現状と課題①



負のスパイラルから抜け出せない  
何とかしなければ！

# 路線バスを取り巻く現状と課題②

## 「運営」と「運行」の分離が進んでいる

【会津若松市の路線バス運行形態】

市や交通事業者だけでは、必要なバスをつくり、維持できない？

路線	運営	運行	課題
「ハイカラさん」「あかべえ」などの事業者自主運行路線	会津バス	会津バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の採算路線となっているのは観光路線のごく一部</li> <li>路線によっては内部補填しながら運行を継続</li> </ul>
地域間幹線や市町村に跨る広域路線などの補助路線	<b>市</b> (県)	会津バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>薄く、広く残していることから、負のスパイラルに陥っている。</li> <li>インセンティブの少ない補助制度であり、運行事業者の主体性は働きのにくい</li> </ul>
<del>市コミュニティバス「みなづる号」「ピカリン号」</del>	<del>市</del>	<del>会津バス</del>	<ul style="list-style-type: none"> <li><del>市が路線設定や利用促進に取り組んでいるが、利用に繋がっていない。</del></li> <li><del>利用者ニーズを把握できていない??</del></li> </ul>

## 【新しいバスの運行形態】

実務上も（実は法律上も）市に対する責務・期待が大きくなっているのに応えられていない  
何とかしなければ！

路線	運営	運行
金川町田園町 <b>住民</b> コミュニティバス「さわやか号」	<b>地域</b>	会津バス
湊地区地域活性化協議会「みなとバス」	<b>地域</b>	<b>地域</b>



# 2. 金川町田園町住民コミバスの取組





# 金川町・田園町の概況

## 【地域の課題】

駅裏であるが、道路が狭隘で路線バスが運行しておらず、免許を持たない高齢者等の移動が長年の課題となっていた



## 【地域の課題】

市全体の高齢化率（高齢者、単身高齢者、後期高齢者、単身後期高齢者）を上回る状況となっている。また、その絶対数も多い。

地区名	総人口	高齢者	単身高齢者	後期高齢者	単身後期高齢者
金川町	1,922人	594人 30.9%	144人 7.5%	330人 17.2%	88人 4.6%
田園町	875人	306人 35.0%	59人 6.7%	160人 18.3%	42人 4.8%
合計	2,797人	900人 <b>32.2%</b>	203人 <b>7.3%</b>	490人 <b>17.5%</b>	130人 <b>4.6%</b>
<参考> 市全域	122,906人	34,237人 27.9%	8,178人 6.7%	18,095人 14.7%	5,114人 4.2%



# 「さわやか号」運行の概要

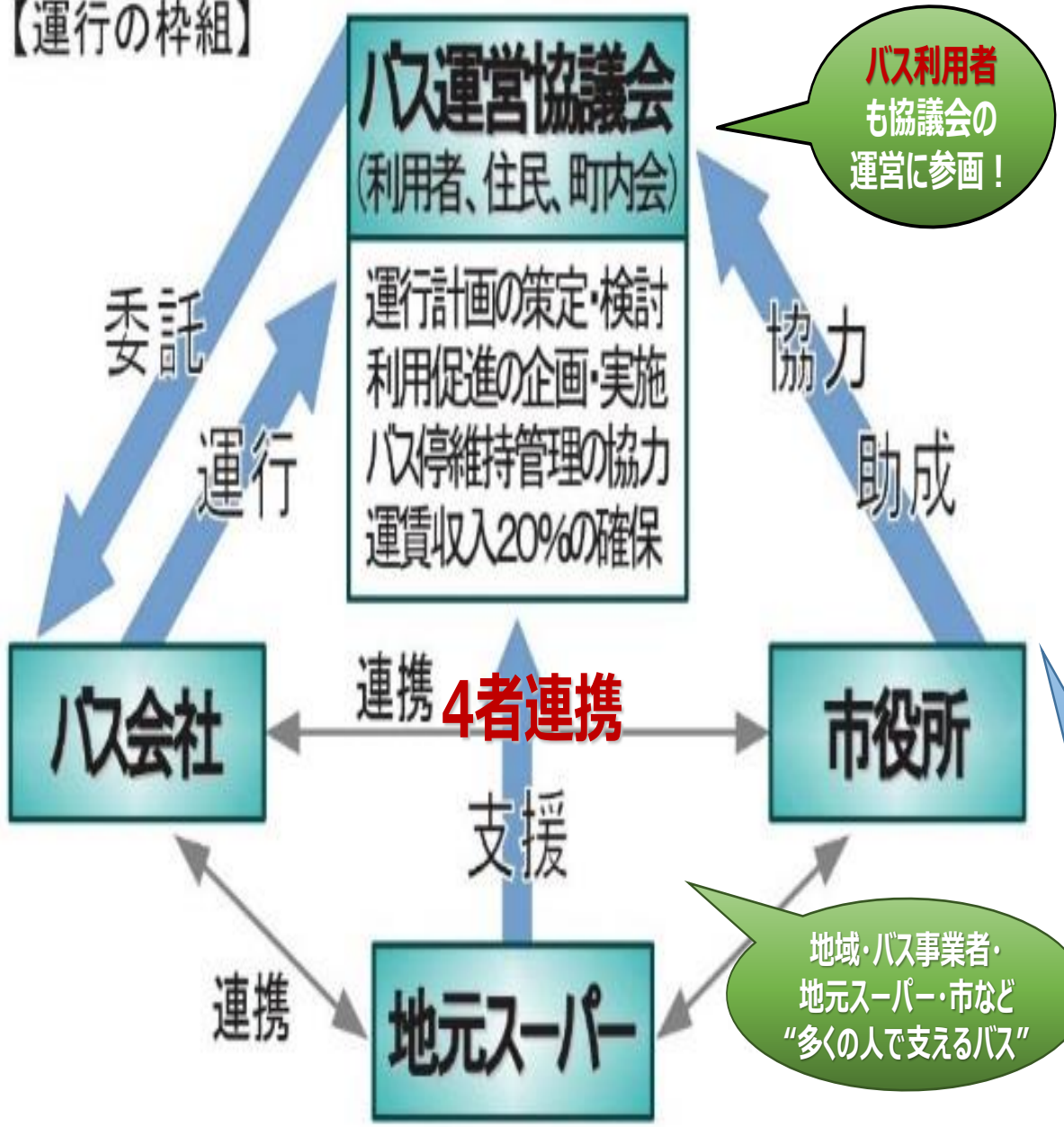


	バス停	第1便	第2便	第3便
町内	金川町児童会館	9:35	11:00	12:40
	金川町東	9:36	11:01	12:41
	金川町北	9:36	11:01	12:41
	大谷青果店北	9:38	11:03	12:43
	田園町北	9:39	11:04	12:44
	田園町町内会館前	9:40	11:05	12:45
	ファミリーマート前	9:42	11:07	12:47
	下大和町	9:44	11:09	12:49
	七日町角	9:45	11:10	12:50
	七日町白木屋前	9:46	11:11	12:51
町内	神明通り	9:48	11:13	12:53
	栄町中三丁目	9:49	11:14	12:54
	桂林寺町	9:50	11:15	12:55
	竹田病院前	9:52	11:17	12:57
	田園町町内会館前	10:30	なし	約30分
	田園町北	10:30	11:20	13:30
	大谷青果店北	10:30	11:20	13:30
	金川町北	10:32	11:22	13:32
	金川町東	10:33	11:23	13:33
	金川町児童会館	10:33	11:23	13:33
町内	神明通り	10:34	11:24	13:34
	七日町白木屋前	10:36	11:26	13:36
	原の町	10:38	11:28	13:38
	すがの屋前	10:40	11:30	13:40
	ファミリーマート前	10:41	11:31	13:41
	田園町町内会館前	10:43	11:33	13:43
	田園町北	10:44	11:34	13:44
	大谷青果店北	10:45	11:35	13:45
	金川町北	10:45	11:35	13:45
	金川町東	10:47	11:37	13:47
金川町児童会館	10:50	11:38	13:50	

定員は13人、  
1日3往復  
往復8.6km  
日中しか運行しない  
“小さいバス”

# 運行の枠組み

【運行の枠組】



**全戸配布** 金川町 田園町 さわやか号

H27.1.1号 住民コミュニティバス さわやか号 だより

「さわやか号」の運行に  
多くの応援をいただいています!!

運行開始から2ヶ月が経過しようとしている「さわやか号」ですが、毎日約15人の方々にご利用いただいております。週4日、1日3便と小さい運行ながらも、バスを必要としている方々の「おでかけの足」として確実にご利用いただいております。「このバスを運行することができて良かった」と思うとともに、「未永くこのバスを継続していかなければならない」との使命感も改めて感じています。

このような中、先月より、「さわやか号」応援寄付金を募集いたしましたところ、多くの方々から寄付金と応援メッセージをいただきました。金川町・田園町の多くの方々から「さわやか号」を応援してくださり、本当に心強く感じています。今後とも、私たちのバス「さわやか号」を、みんなであって、支えて、育てていきましょう。(会長 菊地)

今はまだ利用する機会はありませんが、将来利用する日が来るまで、未永く運行できますように、頑張ってください!

活発で楽しい協議会運営で、バスと地域の両方を育てていって下さい!

10年後にはお世話になります。交通弱者の足を確保することは地域にとって必要です。市内全域に広がることを願っています。

応援メッセージ

※全てのメッセージを掲載できません。申し訳ありません。この世、多くのメッセージを頂いています。※引き続きの応援をよろしくお願いたします。

長〜く続けてください。やがては路線がふえたらいいですね。

車のない私にとって、とても助かります。

「さわやか号」の運営、運行に応援したいです。乗ってみてバス自体も良いですね。頑張ってください!

スタートの時だけ...とならないように、しっかりと運行の維持に頑張ってください!

両町内会と隣町内が一体となり、この「さわやか号」を益々発展して、地域のかけがえのない足となり定着することを祈念します。

**【応援寄付金活動】**

「さわやか号」応援寄付金活動

交通事業者や市だけでなく、バスに乗らなくても寄付で応援してくれる方、近隣の町内会、地元スーパーなど、地域の多様な関係者の支援・連携により、運行することができている

地域・バス事業者・地元スーパー・市など  
"多くの人で支えるバス"





データや利用者の  
声を共有する  
大切な場

## 毎月1回協議会を開催し、みんなで検討！

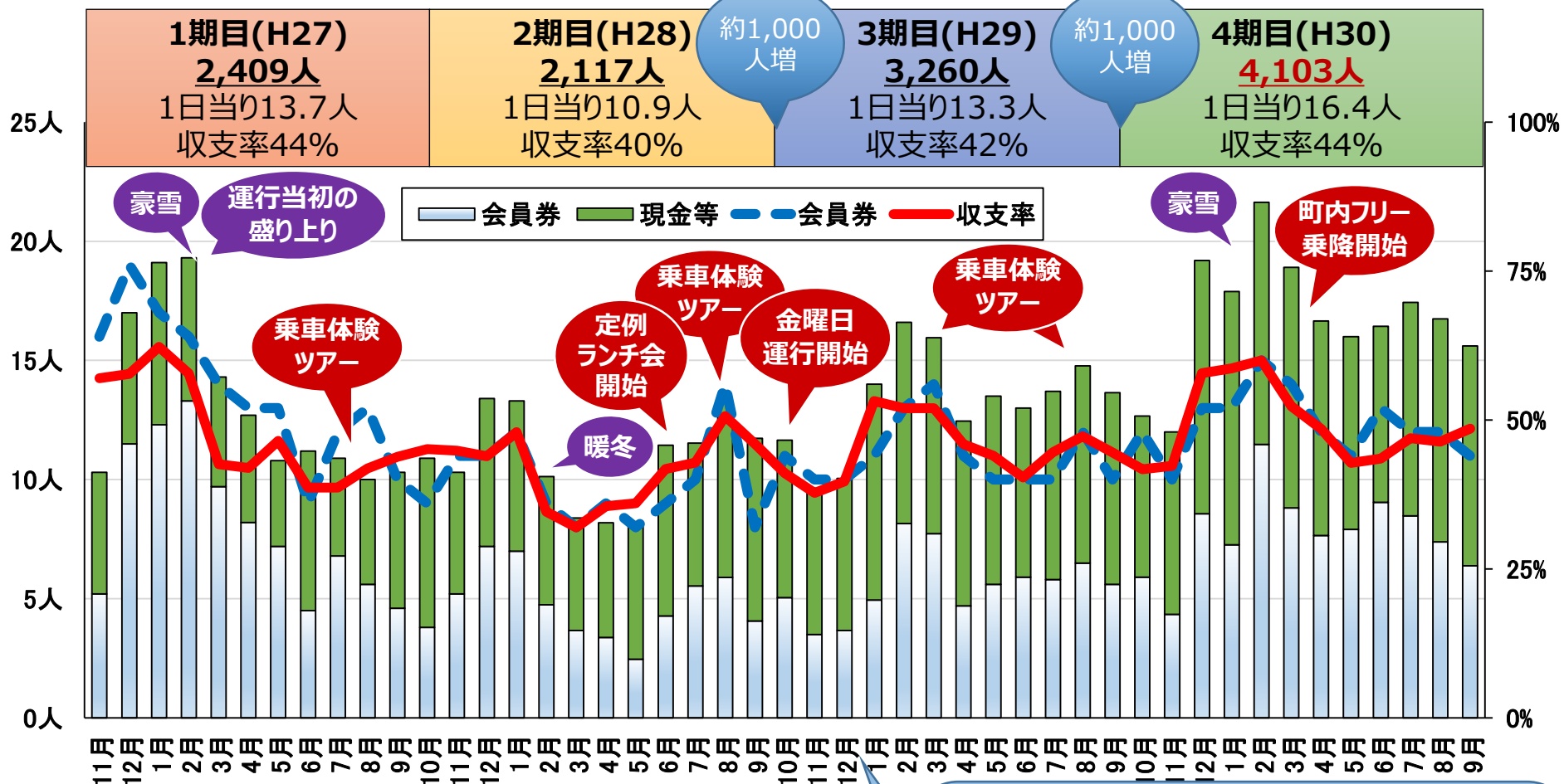
- 毎月の運行実績（利用者数や収支率）の確認と共有
- 運行実績に基づいた利用促進策の検討
- 利用者の声の確認

一体感、連帯感の醸成  
危機感もみんなで共有

## 構成団体・構成メンバー

両町内会長、町内会役員、民生児童委員、高齢者福祉相談員、地区老人クラブ代表、サロン代表、**バスの積極的利用者**、隣接町内会長、地元スーパー、交通事業者、市地域づくり課

# 「さわやか号」運行実績の推移



2期目に入り利用者が減少傾向にあったなか、**定例ランチ会**や**乗車体験ツアー**、**買物ポイントの連携**等により利用者は増加傾向に。  
4期目は、ついに**4,000人を突破**！

地域が主体となった独自の利用促進の取組や運行内容の改善により、安定的なバス利用に繋がるとともに、小さな成功体験の積み重ねが良い循環を生んでいる。



# 「さわやか号」のリーフレット(時刻表)

## 便利な町内フリー乗降

### フリー乗降とは---

運行ルート上であればバス停以外の場所でも自由に乗り降りできます  
※フリー乗降は地図の **■** の区間

### 乗り方・降り方

#### 【乗るとき】

・道路の安全な場所で手を上げてお知らせください

#### 【降りるとき】

・車内の降車ボタンを押して、運転手にお知らせください

#### 【注意事項】

・曲がり角や見通しの悪い場所では、停車位置を変更する場合があります



買物ポイント?

フリー乗降区間  
(※藤室街道は除きます)

往路  
復路

ランチ会?

定例ランチ会で利用したことがあるお店



## 【神明通り周辺拡大図】

## もし、バスがない時は

あいづタクシー  
Tel.0120-69-2468 (フリーダイヤル)



## 買物ポイントで上手に利用



- ・「神明通り」バス停からすぐ
  - ・食料品、衣類など品揃え豊富
  - ・帰りは、バス停が目の前で楽々
- 会員券をお持ちの方だけうれしいコジカカード特典!!

【その1】  
・1,000円以上のお買物で  
**20ポイントを進呈**  
※「コジカカード」と「会員券」をご提示ください

【その2】  
・リオン・ドールポイント券  
**6枚で会員券と交換**  
**現金購入より断然お得!**  
※リオン・ドールポイント券3枚 + 現金1,500円でも交換OK

## みんなでおでかけランチ会

### 定例ランチ会


「さわやか号」に乗って、町内のみなさんと親睦を深めながら、ランチを楽しみませんか?

- 【開催日時】  
・毎月第3金曜を基本に開催
- 【内容】  
・「さわやか号」第2便で出発  
・神明通り周辺のお店でランチ♪  
・「さわやか号」第3便で帰宅
- 【申し込み】  
・二瓶事務局長(Tel.09020213523)
- 【注意事項】  
・開催日等の詳細は、毎月配布される「さわやか号」よりご確認ください。  
・運賃、ランチ代は自己負担となります。  
・ランチ代は概ね1000円前後となります。



# 「さわやか号」定例ランチ会①

何と3年間毎月  
欠かさず開催！

 定例ランチ会で利用  
したことがあるお店

毎月第3金曜は中心市街地まで  
「さわやか号」に乗ってみんなでラン  
チ！利用者が減少傾向にあった状  
況を打開するために企画



白木屋



和風れすとらんくいしん坊 豆ふ屋カフェ



電升組



 パール  
 麦とろ  
田季野



魚娘ま三



 り平



栄町中三





# 「さわやか号」定例ランチ会②

開催回数：33回

参加者のべ人数：609名

巡った店舗数：19店

- ★ランチ会の日にはバスを増車して対応するほどの盛況ぶり
- ★バスの利用促進だけでなく、住民や高齢者の交流の場ともなっている
- ★一部では、友達同士でランチ会が開催されるなど、通常のバス利用に繋がっている

ランチという“楽しみ”とバス利用をパッケージにすることで、出かけ方、楽しみ方を一体的に提案している。

外出が億劫な高齢の方にとっては、“誘われる”ことで、外出機会の創出、増加に繋がっている。

高齢者福祉や中心市街地の活性化にも寄与している。





# 「さわやか号」乗車体験ツアー

沿線の目的地において「こんなことができる」という体験をしてもらうことで、バスの利用に繋げることを目的とした企画（年2回開催）



稽古堂



神明通り



竹田病院



図書館探検隊



絵ろうそくづくり体験

バスを利用した、通院、買物、趣味、余暇など、ライフスタイルそのものを提案している



料理教室



介護予防教室



竹田病院内散策



# 「さわやか号」神明通りスーパーとの連携

## リオンドール神明通り店支援内容

- ・定期券所有者に、買い物金額に応じポイントを優遇
- ・スーパーの電子マネーでバス運賃の支払いを可能に
- ・バス利用者への待合場所の提供や親切なサービス対応

金川町・田園町コミュニティバスをご利用の皆様へ

### リオンドール コジカカード 特典のご案内

金川町・田園町コミュニティバスをご利用の皆様だけの特典!!  
※リオンドール神明通り店限定

その1 住民コミュニティバス会員券をお持ちの方 → **20** ポイント進呈!

その2 リオンドールポイント券 6枚で **交換できます!** (2,500円相当)  
住民コミュニティバス会員券を

1回のご精算1,000円(税込)以上で  
※必ず「リオンドールコジカカード」(住民コミュニティバス会員券)をお持ちください  
リオンドールポイント券3枚+現金1,500円でもOK



安定的なバス利用とスーパーの販促の両方に寄与している。

地域が主体となることで、関係者と柔軟にかつスピーディに連携が図れる。





# バスに乗ること自体も“楽しみ”に変える！

## “走る！地域サロン”

バス乗り合わせたことを通じて  
会話が弾む！輪が広がる！

- 地域の交流の場となる
- 高齢者の安否確認にも繋がる

バスに乗ること自体も  
“楽しい目的”の一つに  
してしまっている！



車内はワイワイが“やが”やともて賑やか♪



会話が弾むように季節に合わせて  
“自分達の”バスをデコレーション♪



バスに乗った人  
にはサンタさんから  
プレゼント♪



# 地域が主体であるからこそ実施できた取組

## 町内フリー乗降の実現(H30.4~)

- ・どこでも乗り降りができる  
→費用は増加せず、利便性が向上

### 【課題】安全性の確保

※交通量の少ない、過疎地など限られた地域しか認められていない

- ・フリー乗降の必要性和安全性を**地域住民自らが警察に訴える**

→安全かつ高齢者の移動支援に資すると認められる



## バス停の増設(H28.6~)

- ・道路が狭隘  
→公道上のバス停の増設が難しい
- ・運営協議会メンバー(バス利用者)の協力で、**民地にバス停を増設**



地域が主体でなければ実現できなかった取組

## 口コミによる利用拡大

- ・運行計画の変更を盛り込んだ新しいリーフレットを作成・全戸配布
- ・メンバー各々が**口コミで利用拡大**に取り組む

# 取組の経過①

## バス事業者による実証実験運行 H23.7～H24.7

- ・市街地外縁部の空白地域対策として実証開始
- ・地元は運行支援委員会として事業者をサポート  
→利用状況の低迷、国補助金の早期終了等により、**実証運行は1年で終了**。本格運行には至らず

実績：H23.7～H24.3

1日当り 運行量	1週当り 運行量	1日当り 利用者
9便 (3コース)	63便 (3コース)	<b>4.1人</b>

実績：H24.1～H24.7

1日当り 運行量	1週当り 運行量	1日当り 利用者
7便 (2コース)	49便 (2コース)	<b>7.9人</b>

## 実証実験運行の検証 H24.8～H25.7

- ・**利用者**ヒアリングやアンケート等による**データ**に基づく検証

## 運行可能性・運行方法の検討 H25.8～H26.6

- ・**利用者**、**利用希望者**との膝詰めでの意見交換
- ・口コミによる**利用希望者**拡充の運動の展開

## 住民主体コミュニティバスの取組 H26.7～

- 【**住民コミュニティバス運営協議会の設立**】H26.7  
・継続したバスの運行を図っていくためには、**地域が主体的**に取り組んでいく必要があるとの認識から設立
- 【**運営協議会の開催**】H26.7～ **毎月1回開催**  
・毎月の運行実績の確認と共有・利用者の声の確認
- ・実績や声に基づいた利用促進策の検討
- 【**「さわやか号」運行開始**】H26.11～  
・運営協議会が運営主体となり、運行を交通事業者が担う形で運行を開始

約2年間にわたる検証・地域との議論

実証運行が不調に終わった後も、利用者からの継続を望む声を受け、地域住民（利用者）・市・交通事業者が、約2年間に渡り、膝詰め検証や議論を積み重ねながら、運行再開に向けて取り組んだ

運行量は1/4以下になったが利用者は2～3倍

H26.11～H27.9

1日当り 運行量	1週当り 運行量	1日当り 利用者
3便 (1コース)	12便 (1コース)	<b>13.7人</b>

H29.10～H30.10

1日当り 運行量	1週当り 運行量	1日当り 利用者
3便 (1コース)	15便 (1コース)	<b>16.4人</b>



# 取組の経過②～データに基づく実証運行の検証

## アンケート調査・分析による需要予測

※ 現時点におけるバス利用に係る地域ニーズの分析（まとめ）

	利用希望する方	利用希望しない方
免許証なし	<p><b>【A:125人】</b></p> <p>◆免許証を持たない利用希望者であり、現時点でバス利用を必要とする中心的な方々（送迎環境が不十分な方はそのうち約20人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎環境が整っている方や、自転車で移動できる方が比較的多いものの、徒歩能力はやや劣る方が多い。</li> <li>・タクシー利用は7割と全体の4割より多く、「送迎・自転車・徒歩」の不足を補完する手段としてタクシーを利用している現状の中で、その代替でバスの利用を考えている様子がうかがえる。</li> </ul>	<p><b>【C:182人】</b></p> <p>◆免許証は持たないものの、現時点ではバス利用を必要・希望していない方々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎環境が整っている方や、自転車、で移動できる方が比較的多いものの、徒歩能力はやや劣る方が多い。</li> <li>・タクシー利用は5割と全体の4割より多く、「送迎・自転車・徒歩」の不足をタクシーで補完している現状もうかがえるが、他の要因等のためかバス利用は希望していない。</li> </ul>
免許証あり	<p><b>【B:68人】</b></p> <p>◆免許証があるものの、バス利用を希望している方々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「常運転者が8割を占めるものの、5年以内に運転を辞めたい方も約3割を占める。</li> <li>・将来利用をも想定して公共交通機関としてのバス利用を考えている様子がうかがえる。</li> </ul>	<p><b>【D:193人】</b></p> <p>◆免許証があり、現時点ではバス利用を必要・希望していない方々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「常運転者が9割を占めるものの、5年以内に運転辞めたい方も約4割を占める</li> <li>・現在は自家用車運転のためバス利用の必要性を感じていないと思われる。</li> </ul>

◆ 当該地区における現時点でのバス利用ニーズの中心は、Aグループ（免許証がなく、かつ、利用希望）125人の方々であり、Bグループ（免許証あり、かつ、利用希望）は、現時点での利用ニーズは一部にとどまると考えられる。

◆ 一般には、運転免許証を持たない方が公共交通機関の主たる利用者層と考えられるが、当該地区では、運転免許証を持たない方の約6割はバス利用を希望しておらず、当該地区におけるバス利用ニーズは一様ではないと考えられる。

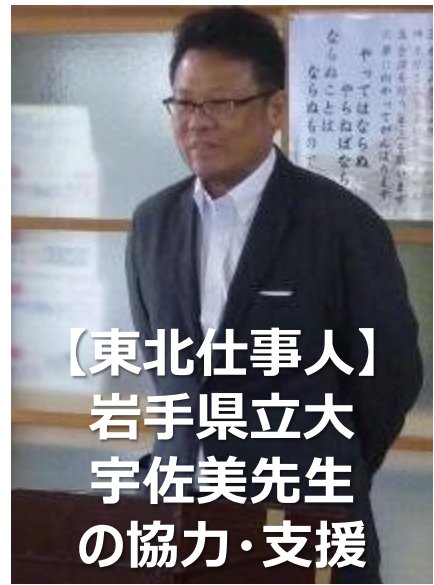
将来は・・・

**【免許証を持っていない方々】**  
 ⇒ 現在は、送迎のほかは徒歩・自転車での移動が中心と思われるが、徒歩・自転車の能力は一般に加齢により衰える傾向があり、この方々の公共交通機関（バス、タクシー）の利用ニーズは年々高まっていく可能性がある。

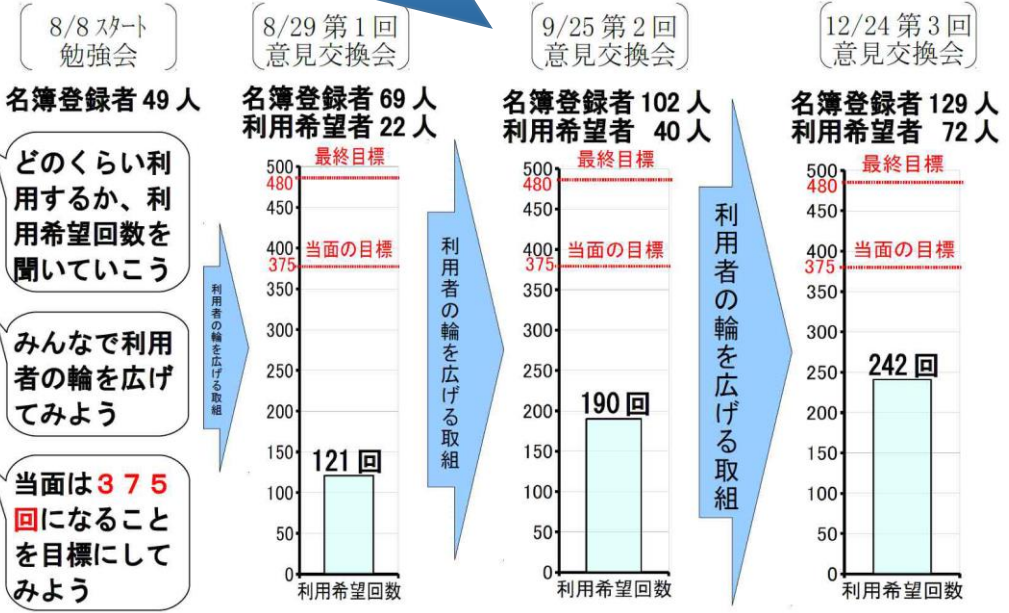
**【免許証を持っている方々】**  
 ⇒ 現在は、自家用車運転による移動が中心と思われるが、運転する能力は一般に加齢により年々低下する可能性があり、特に、運転を辞めたい層は、公共交通機関の利用者へと転換していく可能性がある。

定量的なデータ分析により、説得力のある検証と冷静な議論が可能に

利用者を起点とした定性的な意見・需要の積み上げにより、当面、顕在化する需要の把握が可能に



【東北仕事人】  
岩手県立大 宇佐美先生の協力・支援



記名式アンケート・利用意見交換会によるに需要積上 19

# 取組の経過③～費用負担の枠組み

経常費用 100%				
経常収益 30% 基準収益額		経常欠損額 70%		
運賃収入 25%	地元 負担	市 補助	国 フィード補助	事業者 間接費用負担
〇〇円	〇円	〇〇円	〇〇円	〇〇円

バス運行にかかる費用、収益、補助の考え方について、常に地域と共有しながら検討を行う

## <基準収益額>

- ・調査・分析による算出した需要量に基づき、地域において利用すべき基準を設定
- ・基準収益額を下回った場合には、地元負担がする仕組み

地域の身の丈、需要に見合った持続可能な運行量の設定に寄与

基準収益額を下回らないよう、利用促進や運行改善など不断の取組につながる



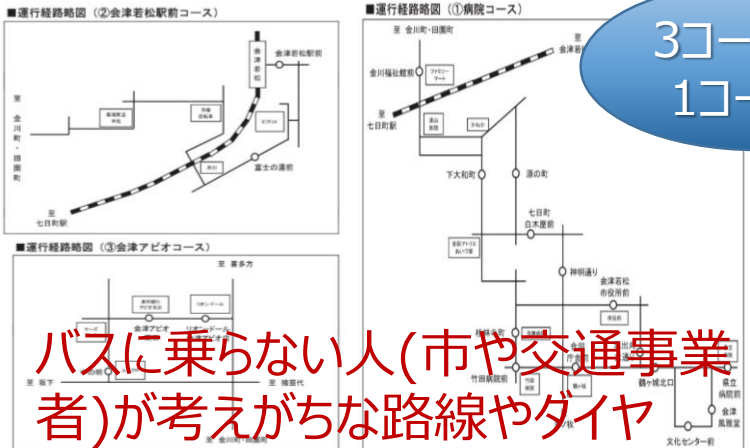
収支について共有することで、「自分達でバスを経営している」という意識に結びついている

【29年度実績】 経常費用 192万円			
経常収益 42%	経常欠損額 115万円 56%		
運賃収入	市補助	国フィード補助	事業者
81万円	3万	56万円	50万円



# 取組の経過④～持続可能な運行量の設定

## 【実証実験時のコース・ダイヤ】



バスに乗らない人(市や交通事業者)が考えがちな路線やダイヤ

3コースから1コースに

さらに距離も大幅短縮

週49便から週12便に

10～14時のみ運行

利用希望者の「週1回のもので良いので運行して欲しい!」との意見を受け、運行再開に向けた持続可能な運行の検討が大きく前進した。

## 【運行再開時のコース・ダイヤ】



バス停	第1便	第2便	第3便
金川町児童会館	9:35	11:00	12:40
金川町東	9:36	11:01	12:41
金川町北	9:36	11:01	12:41

小さく生んで、長く、大きく育てようを合言葉に!

バス停	第1便	第2便	第3便
七日町白木屋前	9:46	11:11	12:51
神明通り	9:48	11:13	12:53
栄町中三丁目	9:49	11:14	12:54
竹林寺町	9:50	11:15	12:55
竹田病院前	9:52	11:17	12:57

バス停	第1便	第2便	第3便
竹田病院前	約30分	なし	約30分
竹田病院前	10:30	11:20	13:30
山鹿クリニック東	10:30	11:20	13:30
山鹿クリニック	10:32	11:22	13:32
山鹿クリニック西	10:33	11:23	13:33
山鹿クリニック南	10:34	11:24	13:34
山鹿クリニック北	10:36	11:26	13:36
山鹿クリニック東	10:38	11:28	13:38
山鹿クリニック西	10:40	11:30	13:40
山鹿クリニック南	10:41	11:31	13:41
山鹿クリニック北	10:43	11:33	13:43
山鹿クリニック東	10:44	11:34	13:44
山鹿クリニック西	10:45	11:35	13:45
山鹿クリニック南	10:45	11:35	13:45
山鹿クリニック北	10:47	11:37	13:47
山鹿クリニック東	10:50	11:38	13:50

## 金川町・田園町コミュニティバス時刻表

平成23年7月20日時刻表

バス停留所名	通過時刻
金川町児童会館	★9:20 ★12:10 ★16:05
金川町東	★9:22 ★12:12 ★16:07
田園町児童福祉会館	★9:27 ★12:17 ★16:12
金川福祉館	★9:29 ★12:19 ★16:14
下大和町	●9:31 ●12:21 ●16:16
七日町白木屋前	●9:33 ●12:23 ●16:18
神明通り	●9:35 ●12:25 ●16:20
竹林寺町	●9:35 ●12:27 ●16:22
竹田病院前	●9:37 ●12:29 ●16:24
鶴ヶ城・合同庁舎前	●9:39 ●12:31 ●16:26
鶴ヶ城北口・県立博物館前	●9:41 ●12:33 ●16:28
県立病院前	●9:43 ●12:35 ●16:30
会津福祉堂	●9:45 ●12:37 ●16:32
文化センター前	●9:46 ●12:38 ●16:33
鶴ヶ城北口・県立博物館前	●9:47 ●12:39 ●16:34
北丸大通り	●9:49 ●12:41 ●16:36
会津若松市役所前	●9:51 ●12:43 ●16:38
鶴ヶ城・合同庁舎前	●12:41 ★16:36
竹田病院前(山鹿クリニック前)	●12:43 ★16:38
竹林寺町	●12:45 ★16:40
神明通り	●9:53 ●12:47 ★16:42
七日町白木屋前	★9:56 ★12:50 ★16:45
原の町	★9:58 ★12:52 ★16:47
金川福祉館	●10:01 ●12:55 ●16:50
田園町児童福祉会館	●10:03 ●12:57 ●16:52
金川町東	●10:08 ●13:02 ●16:57
金川町児童会館	●10:10 ●13:04 ●16:59

※印・●乗車のみ、●印・降車のみ

バス停留所名	通過時刻
金川町児童会館	8:35
金川町東	8:37
田園町児童福祉会館	8:42
富士の湯前	8:51
会津若松駅前	8:54 11:39

バス停留所名 通過時刻  
会津若松駅前 (乗車のみ) 8:55 11:50 13:40 15:40  
富士の湯前 (乗車のみ) 8:58 11:53 13:43 15:43  
田園町児童福祉会館 (乗車のみ) 9:07 12:02 13:52 15:52  
金川町東 (乗車のみ) 9:12 12:07 13:57 15:57  
金川町児童会館 (乗車のみ) 9:14 12:09 13:59 15:59

バス停留所名	通過時刻
金川町児童会館	10:10 14:05
金川町東	10:12 14:07
田園町児童福祉会館	10:17 14:12
リオン・アピオ会津アピオ店	10:23 14:18
会津アピオ南口	10:24 14:19
中の明	10:25 14:20

バス停留所名 通過時刻  
リオン・アピオ会津アピオ店 (乗車のみ) 11:05 15:00  
会津アピオ南口 (乗車のみ) 11:06 15:01  
中の明 (乗車のみ) 11:07 15:02  
田園町児童福祉会館 (乗車のみ) 11:13 15:08  
金川町東 (乗車のみ) 11:18 15:13  
金川町児童会館 (乗車のみ) 11:20 15:15

回数券のご案内	券種	枚数	発売額	割引率
※注意1) 運休日:平成23年12月30日・31日・平成24年1月1日・2日・3日(年末年始の5日間)	200円	11枚	2,000円	9.1%
	300円	20枚	4,800円	20.0%

※注意2) 一部バス停留所以外の各バス停留所の乗降扱いは、行きは降車のみ、帰りは乗車のみとなります。

●お問い合わせ先  
会津バス輸送計画課 Q242(22)5560 若松営業所 Q242(22)5555  
会津乗合自動車株式会社

地域の需要、地域の身の丈に合った、運行量の設定が可能に

# 取組の経過⑤～持続可能な運行量の設定

地域が実施するからこそ、信頼性の高いアンケートが実施できる

実質的な需要に基づいた運行方法の改善や利便性向上をを検討することが可能に

## 金曜日運行(増便)の実現(H28.10)

・週4日(月～木)運行  
→週5日(金曜日増便) → 利便性の向上

・ただし、増便することで費用も増加  
⇒増便しても持続可能な運行かどうか協議会で議論し判断

バス運営の継続性を考慮しての運行計画の検討

<1月運行分を基準とする>

費用	日数	回数	距離	キロ単価	運賃		収支率
					利用者	(1日当)	
124,312円	15日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人	(13.3人) 45%
<b>増</b>	<b>増</b>				そのまま	そのまま	<b>悪化</b>
費用	日数	回数	距離	キロ単価	運賃		収支率
157,462円	19日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人	
<b>増</b>	<b>増</b>				<b>増</b>	<b>減</b>	<b>維持</b>

### 「さわやか号」(金川町・田園町住民)コミュニティバスに関するアンケート調査

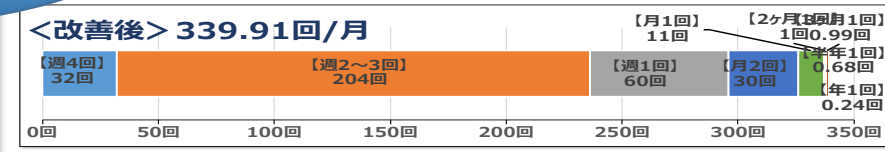
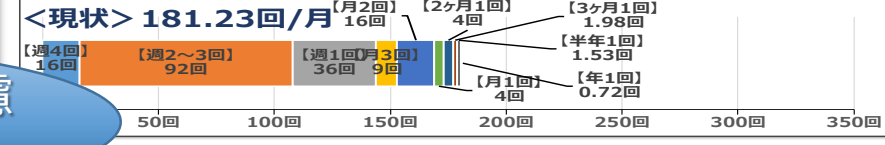
氏名	年齢	性別
住所	性別	1. 2.

記名式でのアンケート

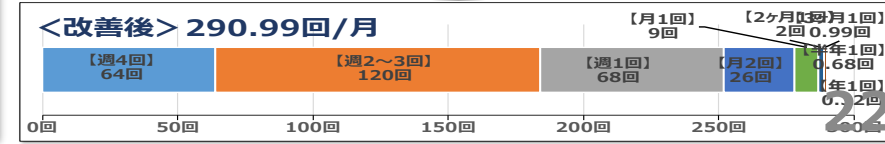
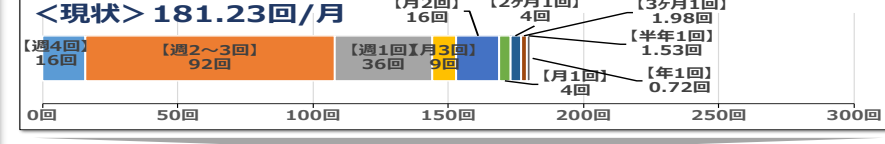
「さわやか号」の利用状況についてお伺いします。  
「さわやか号」は平成26年11月から運行をはじめています。この約1年4ヶ月の間の利用状況について教えてください。良くバスを利用される方は直近の利用状況を教えてください。

- 問1 利用した頻度を教えてください。(ひとつだけ○)
- 1. 週4回程度      2. 週3回程度      3. 週2回程度      4. 週1回程度
  - 4. 月3回程度      5. 月2回程度      6. 月1回程度
  - 7. 2カ月に1回程度      8. 3カ月に1回程度      9. 半年に1回程度
  - 10. 1年間に1回程度      11. 一度も利用したことはない
  - 12. 運行当初は利用していたが今は全く利用しなくなった

### ◆運賃200円とした場合の利用回数



### ◆金曜に運行した場合の利用回数





## 地域と連携・協働したバスづくりの効果

- ① 本当に使われる交通をつくることができ、使われるので**運行の持続性が高まる**
- ② マイバス意識が醸成されることにより、地域の特性・実情に応じた**継続的な利用促進や運行内容の改善に繋がっていく**
- ③ 地域の様々な関係者との連携が広がることで、交通をツール・基盤に、高齢者福祉やコミュニティ活性化など、**地域づくり全体に展開していく**

## 地域と連携・協働したバスづくりを進めていくためには・・・

- ① 地域と冷静な議論を進めていくために、地域やバスの現状を**データで共有していくことが必要**
- ② 本当のニーズを把握するために、**利用者まで掘り下げた意見の把握が必要**
- ③ データや意見をもとにした議論を積み重ね信頼関係を築いていく、**時間をかけたプロセスが必要**

公共交通網形成計画・再編実施計画の策定  
今後の公共交通の取り組みにおける基本方針とする

# 3. 地域との連携・協働によるバスづくりの展開

## 金川町・田園町住民コミュニティバスの取組から学んだこと

- 「持続的に可能な公共交通をつかっていくためには・・・」
- ☆ 地域との連携・協働による取組を基軸とする
  - ☆ 利用者起点、現場起点で取り組む
  - ☆ データを共有し、データに基づき検討を行う



**データや利用者を起点**とした、調査・計画策定

## 会津若松市地域公共交通網形成計画（28年3月策定）

**③「守り育てる公共交通」構築戦略**  
・地域主体コミュニティ交通プロジェクトなど

再編重点地区の抽出  
⇒ **北会津地区、河東地区、湊地区**

**地域との連携・協働によるバスづくりの展開**

## 第1期会津若松市地域公共交通再編実施計画（30年3月策定）

地元地域づくり組織との連携・協働による広域路線、地域内交通の検討

**北会津地域づくり委員会**

**河東地域づくり委員会**

**湊地区地域活性化協議会**



現況や課題を可視化・定量化し共有することで、地域と冷静な議論をすることが可能となった

市職員は、コンサル頼りではない、仮説を持った検討が可能となった

**GISがバス検討の武器に！**

【凡例】

- 人が住んでいるところ
- バス路線
- バス停から300m区域

交通空白・生活不便地域

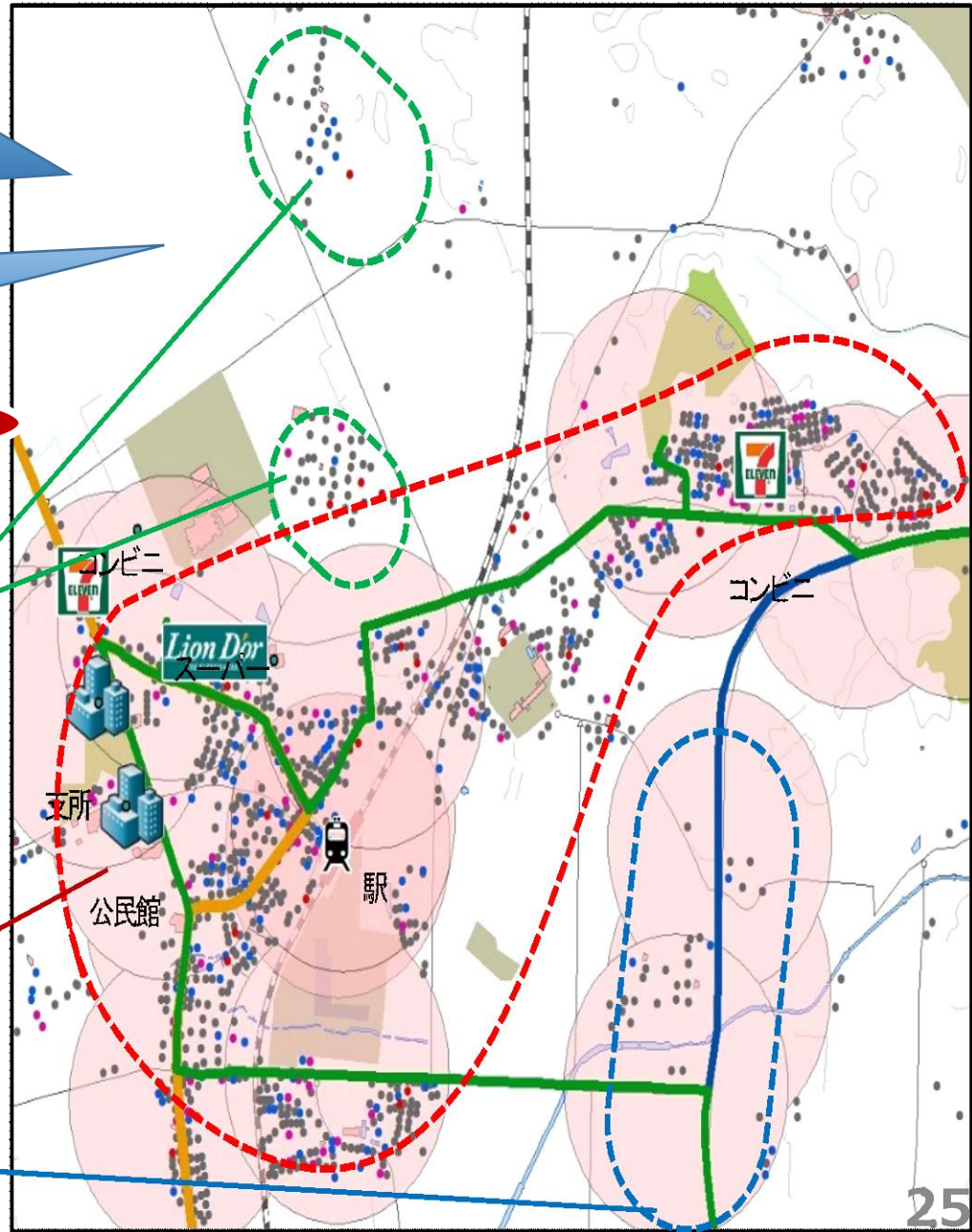
- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- ・集落散在し、人口もまばら

人口集中・便利施設集中地域

- バス利用者が多い地域
- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- ・住宅地が密集し、人口も多い

バス沿線だが利用者が少ない地域

- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- ・集落散在し、人口もまばら



住基と連動したGISシステムを活用



河東地区グループインタビューの様子



北会津地区グループインタビューの様子



アンケートや乗降調査、人口データなどの定量的データと、実際のバス利用者やバスを必要としている人の本音の声(定性的データ)を併せて検討

湊地区グループインタビューの様子



中心部地区グループインタビューの様子

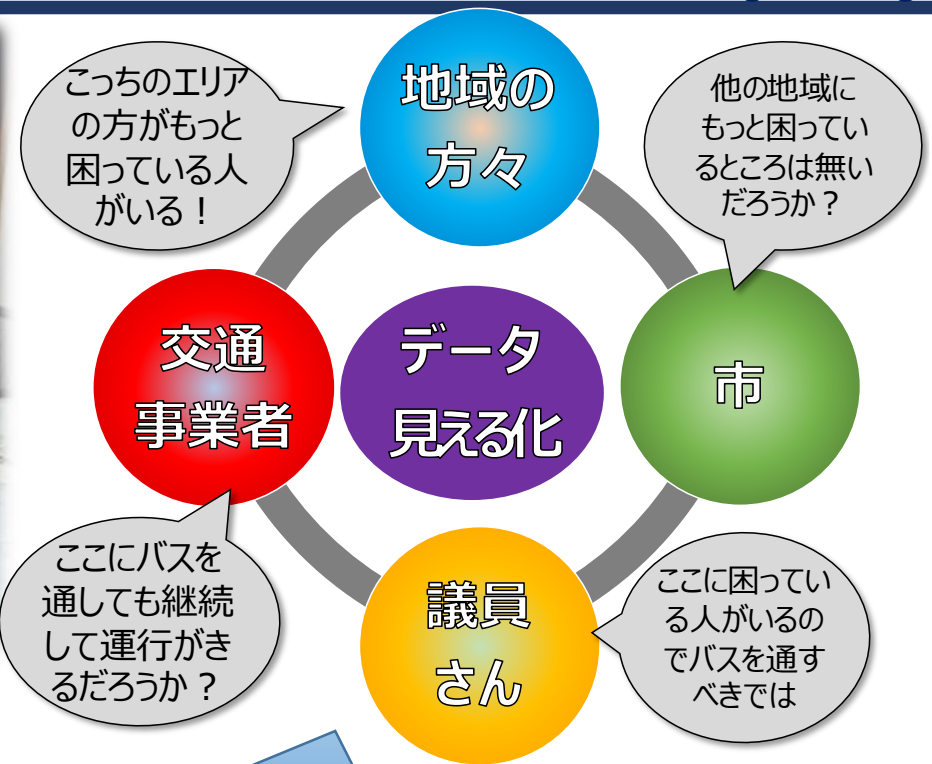




# データに基づいた地域と連携した検討



北会津地域づくり委員会の様子



地域づくり委員会	需要の見極め 地域の実情把握	運行方法の検討
6月 <b>第2回</b> ・全体方針の説明	地域への 聞き取り調査 (記名式アンケート)	地域との 協議
7月 <b>第3回</b> ・地域データの共有 ・3地区に分かれてGW		
8月 <b>第4回</b> ・聞き取り調査経過報告 ・運行ルート検討	利用者との 意見交換会	運行事業者 との調整
9月 <b>第5回</b> ・聞き取り調査結果報告 ・運行方法検討		
9月 <b>第6回</b> ・利用者との意見交換会		
10月	利用者アンケート	
11月		
12月 <b>第9回</b> ・北会津地域におけるバスネットワーク(素案)の検討		

データを共有することで、単なる要望会  
ではない、“冷静”かつ“実質的”な議論  
が可能となった

データに基づいた議論を、複数回、継続  
的に行うことで、地域との信頼関係を築  
くことができた

# 地域との連携・協働による取組の展開

## さわやか号



- ・バス運営協議会
- ・定時定路線型
- ・1日6便（月～金）

## 湊地区



- ・活性化協議会
- ・自家用有償運送を目指す
- ・火～金

- ・「さわやか号」における地域協働運行方式の横展開
- ・フィーダー系統補助の活用

- ・地域の特性・実情に応じたモビリティを、地域の方々と一緒に検討し選択

## 河東地区



- ・河東地域づくり委員会
- ・デマンド型
- ・1日7便（月水金）

## 北会津地区



- ・北会津地域づくり委員会
- ・デマンド型
- ・1日6便（月～土）



**【課題】**地域との連携・協働には手間と時間がかかる  
(時間をかけてやりたいけれどもやれない現状がある)

**【解決の方向性】**市域内の交通に専念できるような適切な役割分担

**【期待する解決方策】**国、(特に)県、市町村の役割の明確化と連携

### 市町村の現状

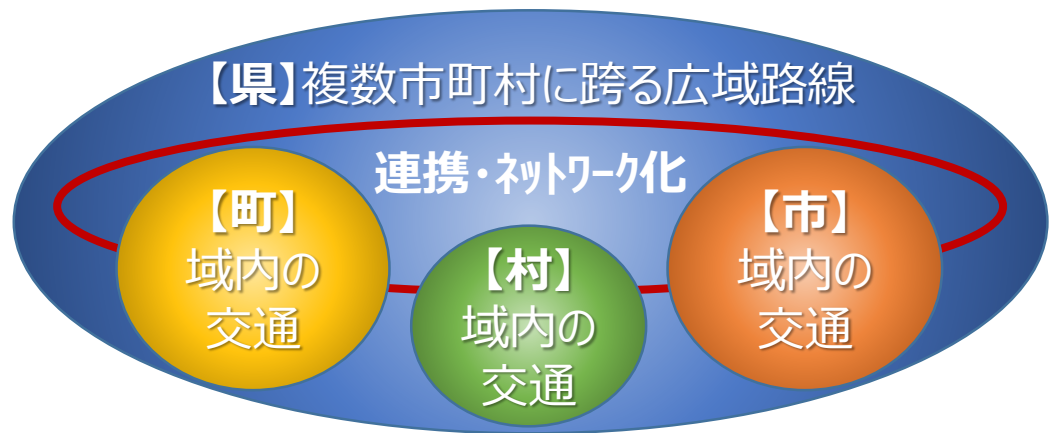
#### <事務>

- ・域内の交通のみならず、複数市町村に跨る広域路線（地域間幹線等）の課題や対応が多い
- ・県は補助金を出す事務に注力し、広域行政体としての路線の確保維持改善の主体的な取組や調整には至らない（県により取組に温度差がある）

#### <財政>

- ・広域路線（地域間幹線）維持の負担が大きい

### 期待する解決方策

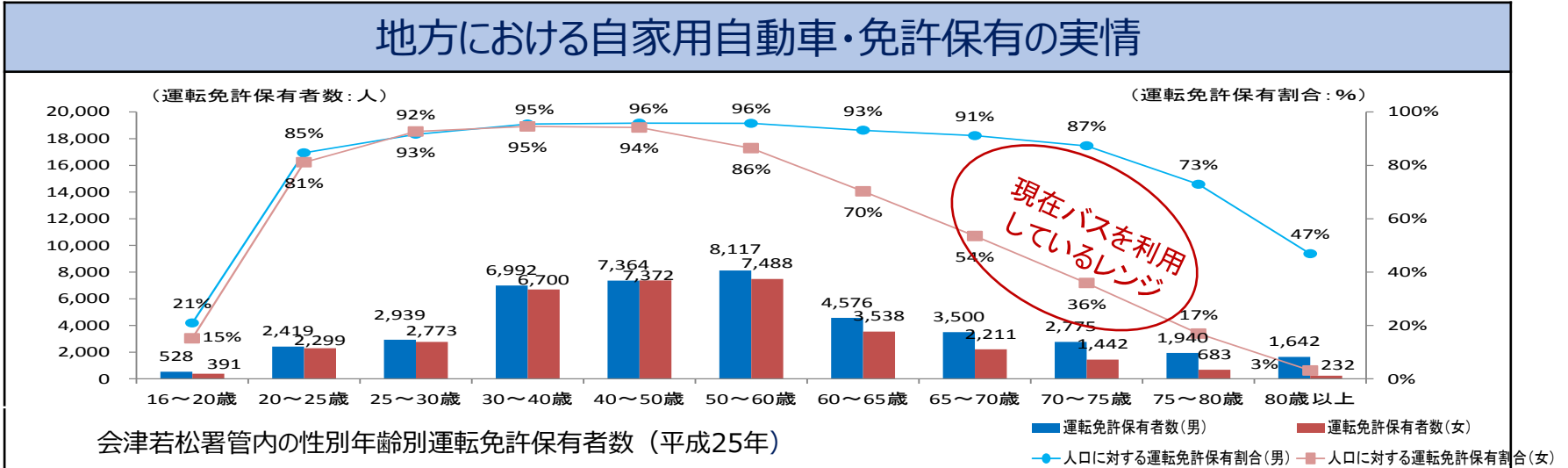


- ・役割に応じて財政負担も分担（県は広域路線に専念、市は域内交通・地域との連携に専念）
- ・地域内の小さな交通は、市町村が取り組んだ方が、特性・実情に応じた柔軟な運行を行うことができる

**【課題】**地方においては自家用自動車は無くしてはならない地域のインフラ。高齢者であっても免許を返納し公共交通に転換するのは容易ではない。ニーズが多様化する中で対応できる公共交通の資源も限られる

**【解決の方向性】**地方の実情に応じた適切なモビリティの選択、住民同士の助け合いによるモビリティの形、公共交通と自家用車の適切な役割分担

**【期待する解決方策】**タクシーの相乗り、安全運転サポート技術の普及と進展



- ・現在のバス利用の中心は、免許を保有していない高齢の女性層（免許保有率が70%~20%の世代の女性）
- ・今後の高齢者は、男女ともに免許保有率が95%の世代になってくる（免許を持たない人は非常に少数になる）
- ・自家用自動車は1世帯につき1.7台保有